

台風5号の接近に伴う農作物被害防止に向けた技術対策

平成30（2018）年6月8日
経営技術課

【事前対策】

I 共通

1 降雨対策

(1) 大雨による冠水等が心配されるほ場では、事前に排水溝を設けるなど、対策を講じておく。

(2) ゴミや刈り払った雑草が水路を塞がないよう、事前に取り除いておく。

2 防風網・防鳥網・多目的防災網等の点検、補修

(1) 網が飛ばされたり破られたりしないよう固定状況を点検するとともに、破損部があると強度が低下するので補修をしておく。

3 ハウスの点検、補修

(1) 被覆資材の破損部や固定が不十分なところがないか点検し、補修を行っておく。

なお、ハウス強度を上回る強風が吹く可能性がある場合には、天窗やサイド換気部を全開にするとともに、天井や妻のビニルをはずして風を抜けやすくし、施設の損壊を防ぐ。時間的に余裕がない場合には、カッターナイフ等で切りとり、風の通り道を確保する。

4 事後対策の準備

(1) 被害後、速やかに回復措置がとれるよう、排水対策や施設等の修復、病害防除等の準備をしておく。

II 作物

1 ビール大麦

(1) 早刈りは厳禁。穀粒水分25%以下のビール大麦は速やかに刈り取りを行う。

2 小麦、六条大麦

(1) 刈り取り適期は穀粒水分30%以下。但し、品質低下が懸念される場合は、やや高水分（穀粒水分35%以下）で収穫する。なお、高水分で収穫した麦は、通常より低めの温度で乾燥を開始する。

III 野菜

1 なす、きゅうり、トマト等

(1) 強風による損傷や倒伏を軽減するため、茎や枝を支柱やネットによく固定しておく。

IV 果樹

1 なし・ぶどう等（棚仕立て果樹）

(1) 強風による枝や果実の損傷を軽減するため、結果枝等を棚によく固定しておく。

2 りんご・もも等（立木仕立て果樹）

(1) 強風による枝や果実の損傷を軽減するため、側枝等太枝に支柱を設置したり、結果枝どうしを結束するなどして、固定しておく。

3 苗木

(1) 強風による倒伏を軽減するため、支柱によく固定しておく。

V 花き

1 露地ぎく・露地りんどう等

(1) 支柱やネットのゆるみを直し、十分に補強する。ネット上げの作業が遅れている場合は、所定の位置までネットを上げておく。

VI 畜産

1 畜舎等

- (1) カーテン等の固定状況を点検し、補修・補強をしておく。
- (2) 雨水の流入が心配される場合は、土のう等により対策を講じておく。
- (3) 車両や飼料、機器を水没しない場所へ移動しておく。
- (4) 風雨により浸水する可能性のある電気設備の防水対策を講じておく。

2 停電による搾乳不能に備えて

- (1) 発電機の準備とともに試運転を行い、燃料を確保しておく。

3 停電等により搾乳ができない場合

- (1) 給水制限すると同時に濃厚飼料の給与は休止する。
- (2) 牛に搾乳刺激を与えないため、牛舎や処理室の出入りは最小限にする。
- (3) 手搾りが可能な場合は泌乳前期牛を優先し、泌乳末期牛は乾乳する。